

募集

■市営住宅入居者

団地名	戸数	間取り	入居対象
本館	1戸	1LDK	一般
高木南	2戸	3LDK	一般
旭町	1戸	2LDK	一般・単身

【締め切り日】11月25日(月)

【入居の決定】抽選により決定

※上記のほか市営住宅13戸、定住促進住宅(新堀)3戸を随時募集しています

【問い合わせ・申し込み】花巻市営住宅管理センター(☎21-3100)

■冬休み！親子県議会教室

【対象】小学5・6年生とその保護者

【日時】12月26日(木)、午後1時～3時30分

※受け付けは午後0時15分～0時45分

【会場】県議会議事堂(盛岡市内丸10-1)

【定員】20組40人程度(先着順)

【申込期限】11月29日(金)

【申し込み方法】①親子の氏名(ふりがな)②小学校名・学年③電話番号を明記の上、メールで下記へ

【問い合わせ・申し込み】県議会事務局(☎019-629-6022 ☎gikai@pref.iwate.jp)

■食の技公開講座「お茶餅」

農村で小昼(こびる)などに食べられてきた、お茶餅のおいしい作り方を学びます。

【日時】12月6日(金)、午後1時30分～3時30分

【会場】石鳥谷保健センター

【定員】20人(先着順)

【参加料】300円(材料代)

【持ち物】エプロン、三角巾

【申込開始日】11月20日(水)

【問い合わせ・申し込み】中部農業改良普及センター 澁谷まどか(☎0197-68-4464)

■花巻農業女子presents

お料理教室「花巻産食材で簡単クリスマス料理！」

花巻農業女子が栽培した農作物と、ホロホロ鳥のだしを使ったおいしくて簡単な料理を伝授します。

【日時】12月21日(土)、午前11時～午後2時

【会場】花巻市交流会館

【内容】すしケーキ、ミートパイ、野菜スープ、イチゴのデザート

【定員】20人(先着順)

【参加料】2,000円(材料代)

【申込期間】11月20日(水)～12月10日(火)

【問い合わせ・申し込み】農政課(☎23-1400)

■「賢治の世界」ワークショップ

童話「貝の火」ガラス体験と大迫を訪ねて

【日時】11月28日(木)、午前9時～3時30分

【会場】体験工房「森のくに」、早池峰と賢治の展示館、花巻市総合文化財センターほか

【集合場所】宮沢賢治童話村駐車場

【定員】15人(先着順)

※小学生以下は保護者同伴

【参加料】1,000円(材料代)

※昼食代は自己負担

【申込開始日】11月18日(月)

【問い合わせ・申し込み】宮沢賢治記念館(☎31-2319)

■春休み海外研修交流事業

【対象】小学3年生～高校3年生

【期日】令和2年3月25日(水)～4月5日(日)のうち6～11日間

【内容】ホームステイ、英語研修、文化交流、地域見学など

【定員】10～20人

※コースにより対象や日程が異なります。詳しくは国際青少年研修協会ホームページをご覧ください

【問い合わせ】国際青少年研修協会(☎03-6417-9721)

学び

■青少年ホーム講座

講座名	定員	期日
腸もみ体験	5人	11月22日(金)
手作りローストビーフサンド	10人	11月26日(火)
ステップエクササイズ	10人	12月4日～令和2年1月29日の毎週水曜日(12月25日・1月1日を除く)、全7回
リラクゼーションヨガ	10人	12月5日～19日の毎週木曜日、全3回

【対象】35歳未満の勤労者

【時間】午後7時～9時

【会場】勤労青少年ホーム

【受講料】無料(材料代は自己負担) ※会員登録(年会費1,000円)が必要です

【申込期限】各講座開始の3日前

【問い合わせ・申し込み】勤労青少年ホーム(☎23-4839)

●同ホームでは新規会員を募集しています。申し込み方法など詳しくはお問い合わせください。

最新の行政情報はラジオから
エフエム・ワンは

78.7MHz

「外国語インフォメーション」
英語・中国語・韓国語で放送中
(平日の午前6時15分から)

市民伝言板

■市民将棋大会

【日時】12月22日(日)、午前10時～午後3時30分

【会場】まなび学園

【参加料】一般1,200円、学生800円(昼食代など)

※申し込み不要です

【問い合わせ】花巻市将棋同好会 佐藤宗典(☎24-1263)

賢治と水稲

賢治と水稲「陸羽132号」

第83回

賢治の作品には、さまざまな農産物が描かれています。詩集『春と修羅 第二集』(あすこの田はねえ)には、日本初の人工配合種で東北地方の気候に適しているとされた水稲「陸羽132号」が登場。賢治はこの水稲の育成を奨励した1人といわれています。この陸羽132号は現在、東和町前田にある「ひばり農園」で栽培されています。農園経営者の及川芳道さんは東日本大震災後、宮城県丸森町から花巻市に移住し就農。自身の好きな賢治作品に登場する春の鳥「ヒバリ」にちなみ、ひばり農園と命名しました。さまざまな野菜とコメを無農薬・無化学肥料で栽培する同農園。陸羽132号の栽培には、田んぼにアイガモを放



◀伝統的な農法にこだわり、天日干しにしています

し、雑草を食べてもらう「アイガモ農法」を取り入れています。気になる味は「さっぱりとして飽きがない」とのこと、このコメを使用したオリジナルのこうじやみそも造られています。及川さんは「賢治が食べていたであろう陸羽132号に自分も関わっていることが幸せです。当時、冷害に強いとされたこのコメに、賢治や東北の人たちが希望を託したと思うと壮大な物語を感じます」と話していました。賢治が栽培を薦めた陸羽132号がどんなコメなのか、食べてみたくありませんか。

【問い合わせ】
本館賢治まちづくり課
(☎24-2111 内線365)

The world and HANAMAKI 世界と花巻 vol.73

友好都市ベルンドルフ市との交流 ギムナジウム生にインタビュー

花巻市国際都市推進員
ガットマン・ジェシー

9月17日～23日の7日間、国際友好都市・オーストリア共和国ベルンドルフ市から、中高一貫校のギムナジウム生12人が本市を訪れました。その1人、シムリンガー・ダニエラさんに花巻の感想を聞きましたので紹介します。

ガットマン 花巻に来る前の心境と実際に着いてからの印象はどうでしたか？
シムリンガー 花巻に来る前は、おいしい食べ物があるように願っていました(笑)し、とてもワクワクしていました。実際、食べ物もおいしく、花巻の皆さんに温かく迎えられて、とても優しいと感じました。

ガットマン この1週間でホストファミリーとの一番の思い出は？
シムリンガー 毎日家の中で、一緒にテーブルに座りながらおやつを食べたり、英語や日本語、そしてたまにジェスチャーで話したりしたことです。単純なことですが、とても楽しかったです。

ガットマン いいですね。この訪問でたくさん体験されたと思いますが、特に印象に残ったことはありますか？
シムリンガー 低学年の小学生と話をした時に、コミュニケーションが1番自然にできたことです。やはり子どもたちは固定観念がありませんので、すぐに仲良くなれたことが印象的でした。
ガットマン それはよかったですね。最後に花巻の皆さんへメッセージをお願いします。
シムリンガー 素晴らしい大歓迎を受けてとても感謝しています。ありがとうございました。



◀シムリンガー・ダニエラさん